



Tales of water life

## 最終回 水を守り、水を遺す<sup>のこ</sup>

水の民最終回の今回は、水の保全についてご紹介します。

### 地球上の水

地球の表面は3分の2が水に覆われています。

水に依存した生活を送っても、水不足には縁がないように思われがちですが、地球表面にある水の97%までが海水で、海水は飲料水にも生活水にも全く適していません。

つまり、地球上の約64億人の人間が地球上の3%の水に頼っているのです。この3%の水も、水蒸気や、地下深くに潜む伏流水や地下水、南極や北極の水や雪など

ほとんどは現実使用不可能な状態で存在し、これらを差し引くと、人が直接使用できる水は、全体のたったの0.0001%に過ぎません。

地球上のすべての生物と水をわかちあうということになると、人間が使える水はもっともっと少ないこととなります。



### 水道水

そもそも水道とは、私達の生活に欠かす事の出来ない水を安定的に供給するためのものです。

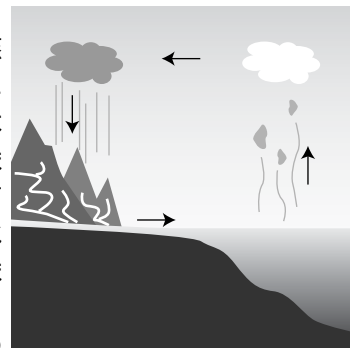
現在の浄水処理の方法は、沈殿、濾過、塩素を入れて雑菌などを死滅させるという処理を施しています。水道の水は特有のカルキ臭がしますが、これは塩素自体の臭いではなく、塩素が細菌と反応することによってカルキ臭が発生してしまうのです。細菌が多ければ多いほど多量の塩素を必要とし、カルキ臭も強く、それだけ水源の汚染がひどいとも言えます。

東川町はきれいな水に恵まれているので、その様な心配はありませんが、水は無尽蔵にある物ではなく、私達東川町民が利用している水は、何十年、何百年も前からこの大地が育んだ恵みの水なのです。この水を私達が守らなければ、私達の子供や孫の世代に引き継ぐ事は出来ません。

### 水の保全

水の保全は、言い換えれば森の保全でもあります。

水は、太陽エネルギー、地球の重力によって絶えず循環を繰り返しています。地上の水は蒸発と蒸散によって大気中に戻り、これらの水分は凝結し、雨となって、また地表に落ちて、地下浸透や河川や海の水に流れ込んで行きます。



森の木々は、その循環の中でも治水と言う大きな役割を果たして大雨の時でも一定の水を川に流したり、ゆっくりと地下に浸透する手助けをする役割を果たしているのです。私達が普段利用している水は、この森によって守られていると言っても過言ではありません。

### 私達が出来ること

森を守ると言う事は一人では出来なくても、私達一人ひとりが生活の中で、水を守る方法があります。それは節水をする事です。

近年の水質汚染の原因は、家庭から出る排水が大半を占めると言われています。節水や汚水をなるべく家庭から出さない事が地球全体の水の保全に繋がります。

【洗濯】まとめ洗い・風呂の残り湯の活用

【炊事】ため洗い・油污は紙で拭き取ってから洗う

【風呂】水量を減らす・シャワーはこまめに止める・残り湯の有効活用

【洗面】洗顔は洗面器にためて洗う・歯磨きはコップに汲んで流しっ放しにはしない

普段、皆さんは地下から汲み上がってくる水がどれ程あるかについて考えた事は無いと思いますが水は限りある資源なのです。

このきれいな東川の水を私達の子孫に遺すためには、一人ひとりが水の大切さを知り、森林保全や節水をするために努力することが重要です。

## 東川のきれいな水を私達の手で守ってゆきましょう。

様々な保全の取り組みがあるはず。探してみませんか？